

国語 出題意図

出題のねらい

この試験の目的は、日本語（国語）現代文の理解能力を測定することです。大学入学後は、講義や演習の内容を理解し、関連する文献や参考資料を読むことによって学習を進めることになります。さらに、レポート・小論文・試験などにおいて、調べたことや自分の見解を的確に表現することも求められます。そのために、基本的な日本語現代文の読解能力を身につけていることが必要です。

本試験の主眼点は、課題文の論旨や筆者の意図を理解できているかどうかを調べることにあります。個々の文や語句の意味が、それぞれの文脈の中で正確に捉えられているか、という点も重要なポイントです。したがって、読解に必要な漢字の意味や使い分けに関しても出題されます。

試験は、4000～4500 字程度の長さの現代文、および、それに対する 30 程度の設問で構成されています。なお、各設問にはそれぞれ 5 つの選択肢を設けています。

受験生へのアドバイス

国語の理解能力を向上させるには、日頃からできるだけ多くの文章を読むことが必要です。試験の課題文としては、説明的な文章が選ばれることが多いですが、まず自分自身が興味をもてる文章から読み始めるとよいでしょう。その際、自分の感覚だけで主観的に読むのではなく、筆者の意図がどこにあるのかを、文脈をたどりながら客観的に読み取ることを意識してください。なお、わからない語句や漢字が出てきたときに、そのつど調べるのが、語彙や漢字を身につけるための近道です。日常的に目に触れる文章に対しても、丁寧に読もうとする姿勢をもちましょう。